主催：防災庁　共催：埼玉県、熊谷市、行田市

避難生活支援
リーダー／サポーター研修
「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加 無料 定員あり ２５人

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。
災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。
本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材**「避難生活支援リーダー／サポーター」**としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。





研修（避難所運営演習）

実践に役立つ　どなたでも参加可能

日時
１日目：**令和９年１月23日 (土)** 10:00～16:00
２日目：**令和９年１月24日 (日)** 10:00～16:00

会場
行田市立桜ヶ丘小学校 体育館
〒361-0023 埼玉県行田市長野１８８０

持ち物
研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）、屋内用運動靴、外靴入れ
※体育館は寒くなることが予想されます。動きやすく暖かい服装でお越しください。

プログラム

1日目	・多様な被災者の心情や状況の理解 ・避難生活の課題と生活環境の整備
2日目	・対人コミュニケーション ・避難所運営の担い手との連携・協働

▲研修の詳細内容については、研修紹介動画を御覧ください



この研修は、防災庁「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

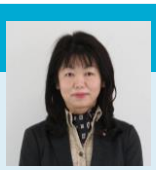
避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前にご一読ください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。
（1コマあたり約10～15分×５コマ）

参加者決定後、研修テキストとオンデマンド動画の情報をお送りします。

研修講師



小柳 由佳 氏

日本赤十字社 長野県支部
事業推進課

日本赤十字社長野県支部で、災害救護、防災・減災教育、救急法等の講習事業、ボランティア活動などの企画・運営に長年携わる。災害対応では、災害対策本部で救護活動の連絡調整や被災者支援、関係機関との調整を経験。日本赤十字社の防災教育事業指導者として、災害関連死を防ぐための備えや自助・共助による支え合いの大切さを伝えるとともに、指導者の育成にも力を注いでいる。傾聴ボランティアとしても活動し、人と人をつなぐことを大切にしている。



椿 佳代 氏

災害ボランティアコーディネーターなごや 副代表／
エンジェルランプ 代表

2003年名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座受講後、活動を始める。2004年から自然災害が多発し、以降毎年どこかで被災地支援を行っている。2014年にエンジェルランプ、2016年多文化防災ネットワーク愛知・名古屋を仲間とともに立ち上げ、男女共同参画の防災や子ども、障害者、外国人など支援の必要な人たちへの防災にも力を入れている。2024年能登半島地震では避難所の環境整備を行う。トイレ対策では「再現！避難所のトイレ」をうんこマダムとして行っている。



岡部 由紀夫 氏

西九州大学健康福祉学部社会福祉学科 准教授／
OKBASE 代表

令和元年佐賀豪雨災害を契機に学生たちと被災地支援チームOKBASEを設立。佐賀県を中心に九州での被災地で足湯やワークショップなどを実施しながら、被災者とのかかわりを通した活動を展開。令和8年熊本地震では、八代市避難生活支援チームや災害支援団体と連携し、八代市や御船町などの避難所で足湯や被災家屋の片付けなどを行った。普段は福祉マンパワーの養成に携わり、学生とともに高齢者の居場所づくりといった実践的なフィールドワークに積極的に取り組んでいる。



関 芳典 氏

社会福祉法人はるな郷生原ホーム事業所管理者／群馬県災害派遣福祉チーム(ぐんま DWAT)

社会福祉法人はるな郷入職後、平成29年に知的障害者福祉協会の推薦により、ぐんまDWAT先遣隊に所属し、ぐんまDWATの組成に尽力。令和元年東日本台風の際、長野県長野市へDWATとして初派遣。令和６年能登半島地震では石川県金沢市の1.5次避難所にてDWAT地域リーダーとして活動。現在もぐんまDWAT内の研修・企画に関する検討委員会委員や専門性向上のための研究会（障害支援）部会長として平時の活動に携わっている。



山岸 敦子 氏

日本赤十字社 長野県支部
防災教育指導者

日本赤十字社防災教育事業指導者。令和元年東日本台風の災害支援に関わるなかで、災害に備える防災、自分の命を守る自助、互いに助け合う共助の重要性を認識。「安心して地域に暮らせる街づくり」をテーマに、日本赤十字社防災教育事業指導者として、地域や学校等で防災・減災を伝える活動を行っている。福祉施設等での相談援助・介護経験あり。社会福祉士・精神保健福祉士・防災士。

お申込方法・窓口

申込締切：12月11日（金）

申込みに関するお問い合わせは、以下へお願いします。

熊谷市役所 市長公室 危機管理課　担当：大井、荻野、清水
電　話：048-524-1111　内線300、333
メール： kikikanri@city.kumagaya.lg.jp



ご記入いただいた申込情報は、本研修の運営にのみ使用いたします。
なお、当日は参加者名簿（氏名・所属のみ記載）を配布いたします。
お申し込みをもって、本個人情報の取り扱いにご同意いただいたものとみなします。

研修に関するお問い合わせ先

業務受託事業者避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：小松、飯嶋）
TEL：03-5402-5355　MAIL:leader-supporter@dynax-eco.com